



東小学校だより

木 洩 れ 陽

令和4年1月7日 No.10

文責 校長 瀨砂一徹

令和4年が始まりました。新春の寿ぎを皆様方に申し上げます。昨年度の今年の一文字は、1年遅れのオリンピック開催を受けて“金”でした。何ともおめでたい一文字でしたが、皆様方にとりまして、今年もまた素晴らしい一年になりますことを心から願っております。

さて、今日から運動場に、校舎の中に子どもたちの声が響き始めました。本校もまた、新しい歩みを始めました。本年度も残すところあと3ヶ月を切りましたが、充実の一時を過ごしていきたいと考えております。

【「文字を書く速度」を大切にする】

デジタル技術の発達により、私達は直接文字を書く機会が減ってきています。それに連れ、文字を書くスキルは、どうしても落ちてしまうのではないかと危惧しています。

文字の一画一画を意識しながら、字形や書き順等を確認しながら書くことは、基本中の基本です。これができなければ、日本の文字文化は根底から崩れていくでしょう。そして、それと同時に、一気に文字を書くことができる力も併行して育てていかねばならないと考えています。

自分が分かればよい程度の文字や記号、関係図、線分図、図形等をメモ帳やノートに書いて思考を深めることも、重要なスキルなのです。自分自身を振り返ってみても、時間をかけて見映えのよい学習ノートを仕上げたけれど、何をどれだけ理解できたのか疑問に思った記憶があります。それでは、何のために学習したのかという大切なところが欠けてしまいます。

大事なものはノートの出来映えではなく、学習の成果を上げられたかどうかだと思うのです。今はじっくりと文字を書くとき、今は一気に文字や図形等を書くときと、書く速度を意識する力を育てていきたいと思えます。

詩の暗唱を通して その5

3学期が始まったことを受けて、“詩の暗唱第2期”も開始します。1月に金子みすゞの「仲なおり」、2月に坂村真民の「二度とない人生だから（前半）」3月に「二度とない人生だから（後半）」を計画しています。

